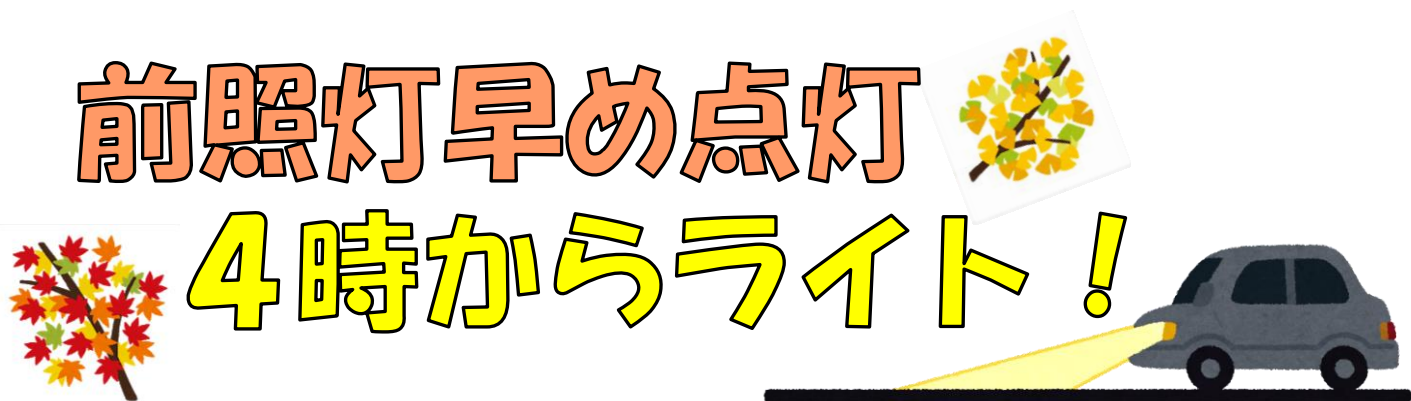


前照灯早め点灯

4時からライト!



毎年、10月から12月の3か月は、死亡事故など重大な結果となる交通事故が多発しています。

昨年（令和7年）は、10月に5人、11月に6人、12月に3人と、3か月で14人の方が亡くなっておられ、重傷者数は10月に25人、11月に36人、12月に80人と、3か月で141人と多くなっております。



なぜ事故が多い？

① 日の入り時間が早くなるから

＜令和8年 滋賀県の日入時刻＞

9月1日	午後6時24分
10月1日	午後5時41分
11月1日	午後5時3分
12月1日	午後4時45分



9月1日と12月1日を比べると、**約1時間40分**も早くなっており、通勤や買い物など交通量が多くなる時間帯と、薄暗くなる時間が重なり、交通事故の危険性が高まります。

② ライトを点灯するタイミングが遅くなるから

7月や8月は夕方以降でもまだライトが要らないほど明るいですが、「秋の日は釣瓶落とし」と言われるように、あっという間に日が暮れます。「まだ早い」と思っているうちに辺りが暗くなって、道端の歩行者に「ドキッ」とした、という経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。



③ 気候が良く、外出の機会が増えるから

紅葉狩りやドライブなど行楽に絶好の時期で、自動車等での外出の機会が多くなるほか、ジョギングなど屋外での運動の機会も増えます。



④ 年末が近づくとつれ気ぜわしくなるから

年の瀬に向けて事業活動が活発になり、交通量が増加します。

どんな事故が多い？

昨年の10月から12月の交通事故を分析しますと、3つの特徴があります。

① 夕暮れの時間帯(午後4時～6時)に注意

昨年10月～12月の交通事故855件のうち、162件(約18.9%)が夕暮れの時間帯(16時から18時)に発生しています。

② 死亡事故が多発

昨年の死者54人のうち、14人(約25.9%)がこの3か月に亡くなり、重傷者数も327人のうち141人(約43.1%)と多くなっております。

③ 高齢者事故が多発

昨年高齢者が関わる交通事故915件のうち、289件(約31.6%)がこの3か月間に発生し、特に12月は139件発生しています。



交通事故防止対策は？

① 前照灯の早め点灯を！

「早め点灯4時からライト！！」を合言葉に、自動車も自転車も早めにライトを点けて存在を目立たせましょう。



② 明るい色の服装や反射材を身に付けよう！

自動車の運転手や周りからよくわかるように工夫しましょう。



④ 速度を落として走ろう！

夕暮れの時間帯は辺りが見えにくいので、昼間より10キロは速度を落として走行し、「思いやり」運転を心がけましょう。



⑤ 全席シートベルトの着用を！

昨年、自動車乗車中の死者20人のうち、7人がシートベルトを着用していませんでした。大難を小難にするのはシートベルトです。後部座席も必ずシートベルトを着用しましょう！



⑥ 飲酒運転の根絶を！

飲酒運転が関係する事故は、昨年29件発生し、これにより38人が負傷しています。飲酒運転は犯罪です。絶対にやってはいけません。みんなで飲酒運転を根絶しましょう。



10月から翌1月は「早め点灯4時からライト」で

夕暮れ事故をストップ！